

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成31年4月11日 (2019.4.11)

【公表番号】特表2018-512406(P2018-512406A)

【公表日】平成30年5月17日 (2018.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2018-018

【出願番号】特願2017-548980(P2017-548980)

【国際特許分類】

C 0 7 C 39/15 (2006.01)

C 0 7 C 215/48 (2006.01)

C 0 7 C 239/20 (2006.01)

C 0 7 C 59/52 (2006.01)

C 0 7 D 233/72 (2006.01)

C 0 7 D 233/78 (2006.01)

A 6 1 K 31/4166 (2006.01)

A 6 1 K 31/137 (2006.01)

C 0 7 D 207/408 (2006.01)

A 6 1 K 31/4015 (2006.01)

A 6 1 K 31/131 (2006.01)

A 6 1 K 31/192 (2006.01)

C 0 7 D 207/26 (2006.01)

C 0 7 D 207/38 (2006.01)

C 0 7 D 207/444 (2006.01)

C 0 7 D 261/14 (2006.01)

A 6 1 K 31/421 (2006.01)

A 6 1 K 31/42 (2006.01)

C 0 7 D 263/38 (2006.01)

C 0 7 D 263/44 (2006.01)

A 6 1 K 31/065 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 21/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 3/06 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 39/15 C S P

C 0 7 C 215/48

C 0 7 C 239/20

C 0 7 C 59/52

C 0 7 D 233/72

C 0 7 D 233/78

A 6 1 K 31/4166

A 6 1 K 31/137

C 0 7 D 207/408

A 6 1 K 31/4015

A 6 1 K 31/131

A 6 1 K 31/192

C 0 7 D 207/26

C 0 7 D 207/38
 C 0 7 D 207/444
 C 0 7 D 261/14
 A 6 1 K 31/421
 A 6 1 K 31/42
 C 0 7 D 263/38
 C 0 7 D 263/44
 A 6 1 K 31/065
 A 6 1 P 9/00
 A 6 1 P 13/12
 A 6 1 P 21/00
 A 6 1 P 1/16
 A 6 1 P 3/06
 A 6 1 P 43/00 1 0 7

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月28日(2019.2.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

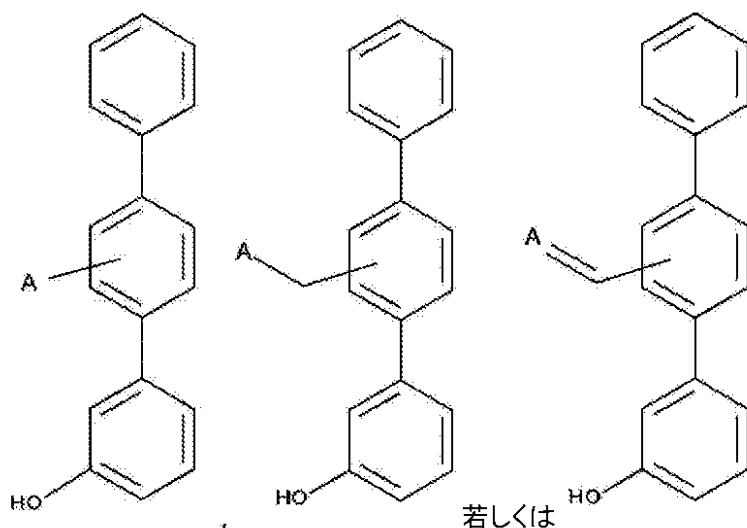
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式：

【化1】



[式中、

Aは、場合により置換された飽和、部分飽和、若しくは不飽和5員若しくは6員ヘテロシクル、場合により置換された $C_1 \sim 6$ アルコキシルアミン、場合により置換された $C_1 \sim 6$ アルキルアミン、場合により置換された $C_0 \sim 6$ アルキルカルボン酸、場合により置換された $C_1 \sim 6$ アルキルヒドロキシル、場合により置換された飽和若しくは不飽和 $C_0 \sim 6$ アルキル二環式ヘテロシクル、及び場合により置換された飽和若しくは不飽和 $C_1 \sim 6$ アルコキシル二環式ヘテロシクルから選択される]の化合物、又はその薬理学的に許容される塩、立体異性体、ジアステレオマー、エナンチオマー、ラセミ体、水和物、若しくは溶媒和物。

【請求項2】

前記飽和、部分飽和、又は不飽和5員又は6員ヘテロシクリルが、1つ以上のオキソ、 $C_1 \sim 6$ アルキル、アミノ、ヒドロキシル、又はハロ置換基で場合により置換されたN、S、又はOのうちの1つ以上を含有する、請求項1に記載の化合物、又はその薬理学的に許容される塩、立体異性体、ジアステレオマー、エナンチオマー、ラセミ体、水和物、若しくは溶媒和物。

【請求項3】

前記飽和、部分飽和、又は不飽和5員又は6員ヘテロシクリルが、1つ以上のオキソ、 $C_1 \sim 6$ アルキル、アミノ、ヒドロキシル、又はハロ置換基で場合により置換されたピロリル、ピラゾリル、イミダゾリル、トリアゾリル、イミダゾリジニル、ピロリジニル、ピロリジニリデン、ジヒドロピロリル、イソオキサゾリル、ジヒドロオキサゾリル、イソオキサゾリジニル、オキサゾリジニル、及びオキサゾリルから選択される、請求項1に記載の化合物、又はその薬理学的に許容される塩、立体異性体、ジアステレオマー、エナンチオマー、ラセミ体、水和物、若しくは溶媒和物。

【請求項4】

前記 $C_1 \sim 6$ アルコキシシルアミンがアミノオキシメチルである、請求項1に記載の化合物、又はその薬理学的に許容される塩、立体異性体、ジアステレオマー、エナンチオマー、ラセミ体、水和物、若しくは溶媒和物。

【請求項5】

前記 $C_1 \sim 6$ アルキルアミンが、 $C_1 \sim 6$ アルキル、 $C_1 \sim 6$ ハロアルキル、ヒドロキシル、又はハロ、好ましくは一置換、二置換、若しくは三置換ハロアルキル、最も好ましくはトリフルオロメタンのうちの1つ以上で場合により置換されている、請求項1に記載の化合物、又はその薬理学的に許容される塩、立体異性体、ジアステレオマー、エナンチオマー、ラセミ体、水和物、若しくは溶媒和物。

【請求項6】

前記 $C_0 \sim 6$ アルキルカルボン酸がカルボン酸である、請求項1に記載の化合物、又はその薬理学的に許容される塩、立体異性体、ジアステレオマー、エナンチオマー、ラセミ体、水和物、若しくは溶媒和物。

【請求項7】

前記 $C_1 \sim 6$ アルキルヒドロキシルがメチルヒドロキシルである、請求項1に記載の化合物、又はその薬理学的に許容される塩、立体異性体、ジアステレオマー、エナンチオマー、ラセミ体、水和物、若しくは溶媒和物。

【請求項8】

前記 $C_0 \sim 6$ アルキル二環式ヘテロシクリルが、1つ以上のオキソ、好ましくはジオキソで場合により置換されたインドリル、イソインドリル、インソリニル、及びイソインドリニルから選択される、請求項1に記載の化合物、又はその薬理学的に許容される塩、立体異性体、ジアステレオマー、エナンチオマー、ラセミ体、水和物、若しくは溶媒和物。

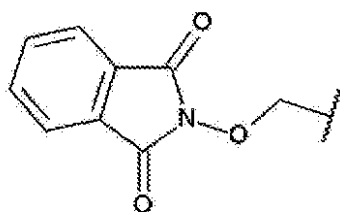
【請求項9】

前記 $C_1 \sim 6$ アルコキシシル二環式ヘテロシクリルが、1つ以上のオキソで場合により置換されたインドリル、イソインドリル、インソリニル、及びイソインドリニルから選択され、前記 $C_1 \sim 6$ アルコキシシルがメトキシ又はエトキシである、請求項1に記載の化合物、又はその薬理学的に許容される塩、立体異性体、ジアステレオマー、エナンチオマー、ラセミ体、水和物、若しくは溶媒和物。

【請求項10】

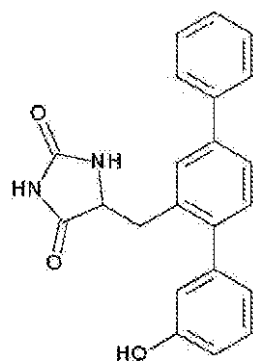
Aが、

及び

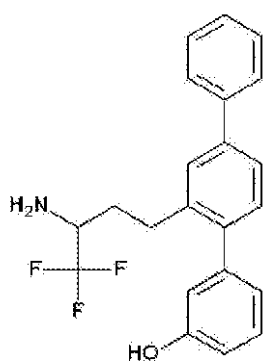


【 請 求 項 1 1 】

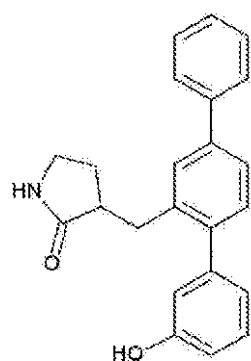
【化 3】



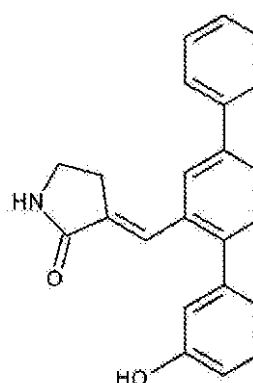
(A32),



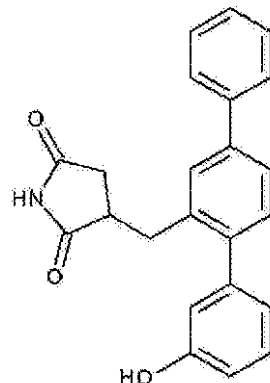
(A6),



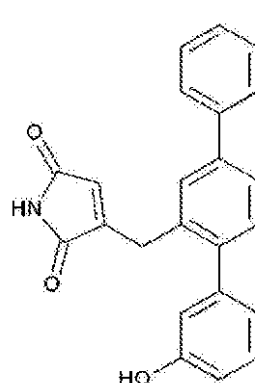
(A26),



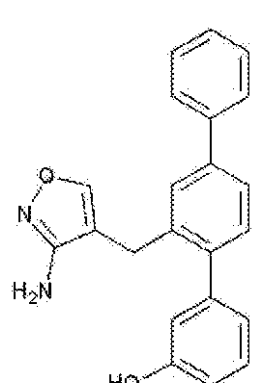
(A27),



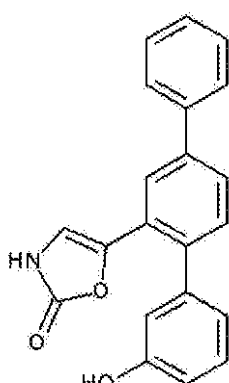
(A30),



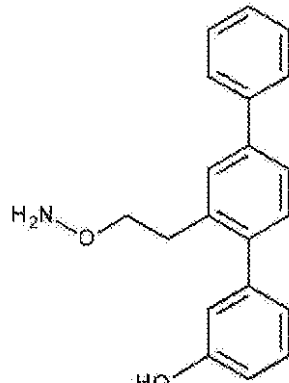
(A31),



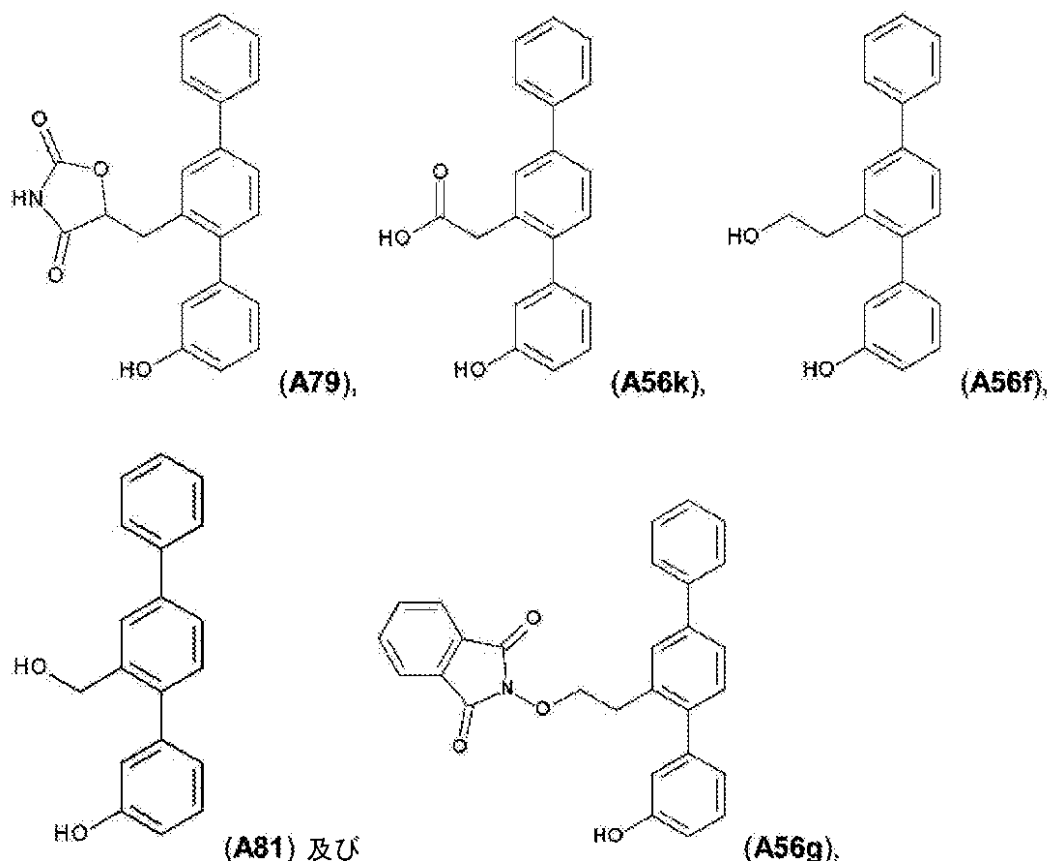
(A35),



(A45),



(A56),



からなる群から選択される、請求項1から10のいずれか一項に記載の化合物、又はその薬理学的に許容される塩、立体異性体、ジアステレオマー、エナンチオマー、ラセミ体、水和物、若しくは溶媒和物。

【請求項12】

請求項1から11のいずれか一項に記載の化合物、又はその薬理学的に許容される塩、立体異性体、ジアステレオマー、エナンチオマー、ラセミ体、水和物、若しくは溶媒和物、及び薬学的に許容される賦形剤を含む医薬組成物。

【請求項13】

請求項1から11のいずれか一項に記載の化合物、又はその薬理学的に許容される塩、立体異性体、ジアステレオマー、エナンチオマー、ラセミ体、水和物、若しくは溶媒和物を含む、線維症の予防的又は治療的処置のための医薬組成物。

【請求項14】

前記処置が、線維症の進行を予防、軽減、又は遅延する、請求項13に記載の医薬組成物。

【請求項15】

前記処置が既存の線維症を軽減する、請求項13に記載の医薬組成物。

【請求項16】

前記処置が正常な組織構造を回復させる、請求項13に記載の医薬組成物。

【請求項17】

前記線維症が、心筋線維症、腎線維症、及び/又は肝線維症である、請求項13から15のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項18】

線維症の処置のための医薬を製造するための、請求項1から11のいずれか一項に記載の化合物、又はその薬理学的に許容される塩、立体異性体、ジアステレオマー、エナンチオマー、ラセミ体、水和物、若しくは溶媒和物の使用。

【請求項19】

前記医薬が線維症の進行を予防、軽減、又は遅延する、請求項18に記載の使用。

【請求項 20】

前記医薬が既存の線維症を軽減する、請求項18に記載の使用。

【請求項 21】

前記医薬が正常な組織構造を回復させる、請求項18に記載の使用。

【請求項 22】

前記線維症が、心筋線維症、腎線維症、及び/又は肝線維症である、請求項18から20のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 23】

請求項1から11のいずれか一項に記載の化合物、又はその薬理学的に許容される塩、立体異性体、ジアステレオマー、エナンチオマー、ラセミ体、水和物、若しくは溶媒和物を含む、肝臓における脂肪蓄積を予防、軽減、又は遅延するための医薬組成物。

【請求項 24】

請求項1から11のいずれか一項に記載の化合物、又はその薬理学的に許容される塩、立体異性体、ジアステレオマー、エナンチオマー、ラセミ体、水和物、若しくは溶媒和物を含む、腎尿細管細胞死を予防、軽減、又は遅延するための医薬組成物。

【請求項 25】

請求項1から11のいずれか一項に記載の化合物、又はその薬理学的に許容される塩、立体異性体、ジアステレオマー、エナンチオマー、ラセミ体、水和物、若しくは溶媒和物を含む、正常な組織構造を回復させるための医薬組成物。

【請求項 26】

肝臓における脂肪蓄積を予防、軽減、又は遅延するための医薬を製造するための、請求項1から11のいずれか一項に記載の化合物、又はその薬理学的に許容される塩、立体異性体、ジアステレオマー、エナンチオマー、ラセミ体、水和物、若しくは溶媒和物の使用。

【請求項 27】

腎尿細管細胞死を予防、軽減、又は遅延するための医薬を製造するための、請求項1から11のいずれか一項に記載の化合物、又はその薬理学的に許容される塩、立体異性体、ジアステレオマー、エナンチオマー、ラセミ体、水和物、若しくは溶媒和物の使用。

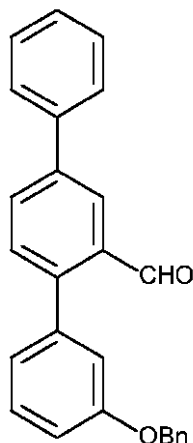
【請求項 28】

正常な組織構造を回復するための医薬を製造するための、請求項1から11のいずれか一項に記載の化合物、又はその薬理学的に許容される塩、立体異性体、ジアステレオマー、エナンチオマー、ラセミ体、水和物、若しくは溶媒和物の使用。

【請求項 29】

式

【化 4】



の化合物。